

地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の名称

潮騒とみどり輝く九十九里・交流と連携の活性化計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

千葉県、東金市、匝瑳市、山武市、千葉県山武郡九十九里町、千葉県山武郡横芝光町

3 地域再生計画の区域

東金市及び山武市並びに千葉県山武郡大網白里町、九十九里町及び横芝光町の全域並びに匝瑳市の区域の一部（旧野栄町地域）

4 地域再生計画の目標

1) 地域の概要

本地域は千葉県の北東部に位置し、我が国屈指の雄大な規模の海岸線である九十九里浜とその後背地に広がる田園地帯、森林を有する丘陵地帯で構成された自然に恵まれた地域である。



白砂青松の九十九里浜

東部の九十九里浜には多くの海水浴場が整備されているほか、宿泊施設が立地し首都圏の近郊型レクリエーション地域となっている。

中央部の九十九里平野は標高2～8メートルの海成沖積土からなり、稲作を中心に、施設野菜・花き・植木類等バラエティに富んだ農業が営まれている。

西部の丘陵地は標高40メートル前後の火山灰土壌からなり、丘陵上では露地・施設野菜の栽培が行われている。斜面は杉・檜等の人工林、雑木林等に覆われ、里山的な景観が広がっている。

地理的には都心から50～70キロメートル圏内にあり、首都圏の外延化に伴い、国道126号及び128号・千葉東金道路・東金九十九里有料道路・銚子連絡道路等の道路交通網が整備されたことにより、千葉市や東

京方面への通勤者等を対象とした宅地開発、さらには、成田国際空港を活かした物流関係の施設整備等が進められている。

2) 地域産業の核となる農業の現状

千葉県の農業は、全国でも上位に位置し、農業産出額は約 4,161 億円(平成 17 年)で、北海道・鹿児島県・茨城県に次いで 4 位の産出額を誇っている。なかでも野菜は、産出額が約 1,653 億円(平成 17 年)にのぼり、北海道から全国 1 位の座を奪い返した。

本地域の農業は、温暖な気候や肥沃な大地に恵まれて、千葉県農業産出額の約 10% を占める県内有数の産地を形成している。

品目別にみると、米の生産割合が高く県内の産出額の約 15% を占めている。

野菜については、地域内の農業産出額の約 4 割を占め、冬春きゅうり・春だいこん・夏秋トマト・冬春トマト・冬にんじん・春ねぎ・秋冬ねぎ・ばれいしょの 8 品目が野菜指定産地の指定を受け、首都圏への野菜供給基地としての役割を担っている。

果樹については、梨・柿・ぶどう等多品目が栽培されており、ほとんどの品目が直売やもぎ取り等の観光果樹園となっている。



花き・植木については、切り花・鉢花・花壇苗・観葉植物・洋ラン及び植木生産が行われており、特に植木は東金市や匝瑳市を中心に伝統のマキ・キャラ等の造形物生産が行われている。

また、千葉県では、農業の自然環境への負荷を減らすとともに、生産者と消費者のお互いの顔が見える農業を実現し、消費者の求める安全・安心な農産物の供給体制を作るために、平成 14 年度から通常と比べ農薬と化学肥料を 2 分の 1 以上減らした栽培を行う産地の指定や、これらの産地で栽培された農産物を「ちばエコ農産物」として審査を行い認証している。

本地域では、「ちばエコ農産物」の認証を受けている農産物は 15 品目、面積にして約 280ha、約 530 戸(平成 18 年 8 月現在)の生産者が環境にやさしい農業を実践している。

3) 観光資源の現状

本地域の大きな観光資源としては九十九里浜がある。弓状に展開する遠浅の海岸線や、美しい白い砂と青い松の続く「白砂青松」は、太平洋の壮大さと調和し、年間約120万人(平成17年)の海水浴客が訪れている。

また、観光リゾート地として、県立蓮沼海浜公園・蓮沼ウォーターガーデン・国民宿舎サンライズ九十九里・国民宿舎のさか望洋荘等が整備され、海水浴・海釣りの他サーフィン・テニス等のスポーツも楽しむことができ、若者にも魅力ある地域となっている。

さらに、本地域は千葉県内有数のイチゴの産地であり、地域内にはイチゴ直売所が立ち並び、毎年1月から5月中旬頃まで多くの人々が観光バス等でイチゴ狩りに訪れている。

イチゴ狩りの他にも、秋には梨・柿・ぶどう・リンゴ狩り等に多くの人々が訪れ、地域内に点在するJA 緑の風等地元農産物の直売施設とともに、観光融合型農業、交流型農業が進められている。

このように、本地域は夏期中心のイメージの強い地域であるが、四季折々の農水産物や文化等観光資源があり、年間を通じて多くの人々が気軽に訪れ、余暇を楽しむことができる観光地づくりを目指している。



九十九里浜の海水浴



イチゴ狩り

4) 地域内交通の現状

本地域内の市町村道は狭隘箇所やカーブが多く、国道や高規格道路等にアクセスするのに時間がかかり、渋滞の発生も頻繁であるため、地元産農産物の出荷・輸送に時間がかかっていることや、海水浴等の観光シーズンには大渋滞となり、観光客の大きな不満となっている。

また、通勤通学等地域の生活環境にも大きな影響を及ぼしており、交通事情の改善が望まれている。



交通渋滞の状況



通学時の状況

5) 地域再生への目標

広域農道及び地域内の道路整備により、地域農産物流通の効率化や集出荷時間の短縮を促し、農産物の品質の安定化及び鮮度保持をさらに進めることで、消費者の求める新鮮で安全・安心かつ良質な農産物の供給が可能となる。

また、産地としての競争力が向上し、生産者の生産意欲を刺激する。

これにより、地域農業の振興等地域産業の活性化を図るとともに、地域生活環境の向上に資する。

本地域には魅力ある観光資源が点在しているが、過去10年間(平成8年～17年)の観光入込数は、平均するとほぼ横ばいになっている。

そこで、基幹道路を一体的に整備し、観光シーズンにおける渋滞問題等を改善することにより、観光入込数の増加を図る。

また、併せて、地域に点在する観光資源をネットワーク化することで、夏季における海洋レジャーに加え、日帰りの農業体験や観光農業等“いつ来ても、何度来ても楽しめる「九十九里」”として、通年型観光への転換を目指す。

【数値目標】

農畜産物流通の効率化(輸送時間を約40%短縮)

ちばエコ農産物栽培面積の増加(H17年:約214ha 85%程度の増加)

計画地域内への観光入込数の増大(H17年:約450万人 5%程度の増加)

5 目標を達成するために行う事業

5 - 1 全体の概要

1) 地域の活性化を図る事業

広域営農団地農道整備事業と市町村道整備事業を一体的に実施することにより、本地域の道路ネットワークの充実を図る。

また、関連事業を効果的に展開し、産地ほ場から集出荷施設まで、集出荷施設から消費地への農畜産物流通の効率化を促進する。

併せて、農村地域と市街地とのアクセス改善を図ることにより、通勤通学や病院への利便性の向上、緊急車両の通行路の確保等地域の生活環境の向上を図る。

さらに、豊富な観光拠点までの新たなアクセス道路とすることで、本地域の活性化に資する。

5 - 2 法第四章の特別の措置を適用して行う事業

1) 道整備交付金を活用する事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。

なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

[施設の種類の種類(事業区域)、実施主体]

広域農道 (東金市、山武郡大網白里町、山武郡九十九里町)
千葉県(土地改良法に基づく実施手続、開始済)

市町村道 (東金市、匝瑳市、山武市、山武郡九十九里町、
山武郡横芝光町)

東金市、匝瑳市、山武市、山武郡九十九里町、
山武郡横芝光町(認定済)

[事業期間]

広域農道 平成19年度から平成23年度まで

市道(東金市) 平成19年度から平成23年度まで

市道(匝瑳市) 平成19年度から平成23年度まで

市道(山武市) 平成19年度から平成22年度まで

町道(九十九里町) 平成20年度から平成23年度まで

町道(横芝光町) 平成19年度から平成23年度まで

[整備量及び事業費]

広域農道 L = 5,760m

市町村道 L = 9,638m

市道（東金市） L = 755m、市道（匝瑳市） L = 1,700m
市道（山武市） L = 1,230m、町道（九十九里町） L = 1,200m
町道（横芝光町） L = 4,753m

・総事業費 5,772,250 千円

広域農道 2,882,250 千円（うち交付金 1,441,125 千円）

市町村道 2,890,000 千円（うち交付金 1,445,000 千円）

市道（東金市） 230,000 千円（うち交付金 115,000 千円）

市道（匝瑳市） 390,000 千円（うち交付金 195,000 千円）

市道（山武市） 240,000 千円（うち交付金 120,000 千円）

町道（九十九里町） 120,000 千円（うち交付金 60,000 千円）

町道（横芝光町） 1,910,000 千円（うち交付金 955,000 千円）

5 - 3 その他の事業

1) 地方道路交付金事業の活用

国土交通省の地方道路交付金事業を活用した地方道路の整備を進め、地域道路網の充実を図ることで、地域生活環境の向上と当地域へのアクセス性の改善等に資する。

2) 広域営農団地農道整備事業九十九里地区促進協議会の活用

地域の関係者で組織する広域営農団地農道整備事業九十九里地区促進協議会において、事業の進捗状況や諸問題について情報を共有し、地域の関係機関等が一丸となり円滑な事業推進を図る。

3) 大型観光キャンペーンの実施

平成19年2月～4月の3ヶ月間、千葉県初の大型観光キャンペーン「ちばデスティネーションキャンペーン」(DC)を展開する。DCでは、千葉の多様性を活かして、各地域の関係団体が一体となって企画した400を超える特別イベント等が行われる。

4) 各市町における観光イベント等

全県的な取組みの他にも、各市町では工夫を凝らした観光イベントが行われており、観光客入込数の増加に寄与している。その一部を挙げると、以下のとおりである。

- ・ やっさまつり(東金市)
- ・ 産業祭(東金市)
- ・ 八重垣神社祇園祭(匝瑳市)
- ・ ライトフェスタ in さんぶの森(山武市)
- ・ 元旦祭(九十九里町)
- ・ ふるさとまつり(九十九里町)
- ・ 広濟寺の鬼来迎(横芝光町)

5) 観光産業育成支援

「観光立県千葉の実現」を目指し、経営アドバイス、施設整備資金融資、ホスピタリティー向上策等の充実により地域観光産業の体質改善を行うとともに、他産業との融合などにより新たな観光事業の創出を図る。また、観光学の講座を有する大学との連携については、現在実施している人材育成から、観光地づくりや産業基盤の強化などの分野に拡大し、地域経済の活性化につなげていく。

6) 観光情報ウェブページの運営

官民で構成する「山武郡市の新しい観光づくり研究会」により開設された観光情報ウェブページ「九十九里探訪」では、九十九里地域の観光情報が分かり易くまとめられており、効率的に情報を得ることができる。

また、各市町村別の観光案内も見ることができる。

7) 「山武ブランド」の確立に向けた販売促進対策

消費者を意識した販売戦略のもとに販売促進活動を展開し、山武農産物の知名度をアップするとともに、「山武ブランド」の確立を図るため、市町・農協・生産者組織等との連携強化、農産物直売店への支援、「ちばエコ農産物」販売協力店などの登録拡大等を推進する。

8) 農林業を支える経営体・担い手の育成

担い手や後継者の確保・育成を図るため、農業新規参入者を対象とした経営・技術・融資等に関する相談窓口の設置、地域農業の核となる認定農業者の確保、各組織間の連携による地域活性化のためのネットワークづくり等を推進する。

9) 都市と農山村の交流促進

交流の拠点となる施設や遊休農地等を利用した市民農園等を整備し、都市住民等の受け入れ体制の充実を図るとともに、消費者と生産者の相互理解、情報交換及び販路拡大のための相互ネットワーク化を推進する。

また、地域紹介ガイドの作成等、情報発信のための諸活動を実施する。

10) 環境にやさしい農業の推進

農業の持つ物資環境機能を活かし、家畜ふん尿等の堆肥化による土づくりを基本に、農薬・化学肥料の節減等、環境に配慮した農業に取り組む産地の育成、啓発活動を実施する。

6 計画期間

平成19年度～平成23年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4に示す地域再生計画の目標については、計画終了後に状況を把握し、関係行政機関等により達成の評価、改善すべき事項の検討等を行う。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし